

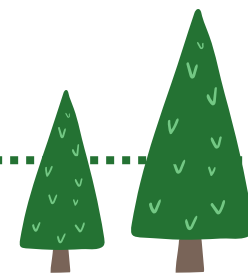
toaru.jp



放課後等デイサービスの 新規集客が「ブログ」だと しんどい理由6選



目次



01 ユーザー層の分別ができない

02 検索結果には競合が多い・強い

03 非効率な集客方法がブログ

04 時間と労力が必要

05 上手く解析できない

06 新たにサイトを立ち上げると生じる問題

01

ユーザー層の草分けができていない

自社ブログにたどり着いたユーザーに対して、定期的な情報を発信できるのが、ブログのメリットの一つです。

児童福祉系サービスだと、週次や月次の活動報告を併せて表現されているブログは本当によく見かけます。もちろん保護者目線では、日々口頭で報告を受けていたとしても可視化されたブログで見かけるのもちょっと嬉しかったりします。

既にファン化している属性は、ブログを定期的に関覧します。

一方、放課後等デイサービスを初めて検討するユーザーは、知らない子どもたちが、よくわからないことをしているだけの画像を見て、すぐに離脱します。

ココが大きなポイントです。利用者に対して提供するコンテンツと、新規利用者を獲得するコンテンツが異なります。当然難しいのは後者になります。

02

競合数も多く・
強いWEBサイトも目立ちます



02

検索結果にはWEBリテラシーが高い競合が多い

全国には放課後等デイサービスのデータが約15,000所あります。

厚労省のデータを見ると2012年から2020年まで5倍に増加したそうです。私たちの施設がある田舎でも同市内に100施設ほど施設が競合しており、過熱が顕著に表れています。

国は「支援の質」の向上を図っており、二類型の対策も直近の課題です。
WEB検索ニーズが強い市場です。放デイをすでに利用している方だけでなく、利用を検討している方や、利用に悩んでいる方など、多くのニーズがWEBに集まっています。

Googleの検索アルゴリズムは、E-EATやYMYLというルールを重視しており、それらのルールを精度よく達成したWEBサイトほど、検索キーワードに対して優先的に上位表示されます。



発達ナビが医者や専門家に記事を書かせるのはこうした理由があるからですね。

競合施設の増加に伴い、WEB戦略の重要性が高まる中、多くの施設ではWEB戦略の追い付いていません。

03

まーまー非効率な 集客方法が ブログ



03

効果的な集客方法につながらないのがブログ

既にファン化されているのが、ブログ読者・フォロワーです。

日々のブログ運営業務とは別に、新規利用者獲得に向けた施策が必要となります。

では「仮にもう一つブログを立ち上げればいいのか？」という質問に対しては、
答えは「いいえ」となります。

ブログに限らず、WEBメディアの流入経路の多くはGoogle検索結果からです。

この検索結果で上位表示すること（SEOといいます）は、2020年5月のGoogleコアアップデート移行により、個人～小規模事業者のブログは撤退レベルで難しくなりました。



Googleコアアップデートにより、検索結果の順位が大幅に変動する頻度が高まっています。

以前は数年に1回程度でしたが、ここ数年は数ヶ月に1回程度と高頻度で発生しています。

そのため、大手企業のWebサイトですら安泰と言えなくなりました。

また、2020年5月からはGoogleの検索アルゴリズムは、

E-A-T（専門性・権威性・信頼性）の評価を重視する方向に舵を切りました。

E-A-Tとは、Expertise（専門性）、Authoritativeness（権威性）、Trustworthiness（信頼性）の頭文字を取ったもので、Googleが検索品質評価ガイドライン内で、ページ品質評価の最重要とされている項目の1つです。



growthseed.jpより引用

E-A-Tは、2022年12月にExperience（経験）が追加され、E-E-A-Tとなりました。Googleの検索アルゴリズムは、E-E-A-Tの高いページを高く評価するようになっており、サブドメインやサブディレクトリ型のサイトは、E-E-A-Tを高めにくいため、順位が上がりにくくなっています。

ただ、顧客教育と相性の良いのがブログでもあります。「#放デイ 経営者のブログ」のようなブログは異なり、引き続きブログマーケティングは行う強みもある方にはあります

時間と労力が 必要



04

04

時間と労力が必要

無料ブログサービスは、多くの場合、サブドメイン型またはサブディレクトリ型です。アメブロもその一例です。

アメブロやnoteなどの無料サービスや無料ツールと、ワードプレスなどのCMSツールを比較した場合、記事を書く労力が同じであることを前提とすると、自社ドメイン・自社サーバーのサイトの方が、上位表示しやすくなります。

一般的なWEBメディアは、ユーザーの「知りたい」をベースに記事化されています。一方、ブログは、つつい「今日はこんなことしました！」のように、自分（自社）主体の発信になりがちな傾向があります。

そのため、当然ながら、ブログは、①閲覧されない、②見られない、③回遊されないという事態に陥りやすいと言えます。

解析できない
解析しにくい問題

05



05

解析できない・解析しにくい問題

無料ブログサービスは、他人のドメインやサーバーを借りて運営するサービスです。そのため、与えられるツールや機能には限りがあり、自社メディアの解析が不十分になりがちです。

自社メディアの解析は、新規利用者のニーズを把握し、自社施設が市場とのギャップを知るために重要です。また、自社施設がWeb上でどのようなアクションをすべきかを理解するためにも役立ちます。

無料ブログサービスでは、この解析が不十分なため、自社施設がWeb上で成果を出すのが難しくなります。一方、WordPressなどのCMSでは、Googleアナリティクスなどの解析ツールを活用できるため、より効果的な施策を打つことができます。



なんだか難しそうに見えるかもしれませんが、レポートのパッケージ化を進めれば、実際には非常に簡単です。月に2～3回限られたポイントを見るだけで成果の進捗が確認できます。

じゃ新たにサイトを立ち上げる！ と起きる問題



06

これまで、無料ブログサービスの課題として、ニーズとのギャップ、機能の制限、Google側のバックグラウンドへの課題等を記載してきました。

しかし、制作会社に依頼して新規サイトを自社ドメインで立ち上げる場合、田舎ではより深刻な問題が生じる可能性があります。



一般的な制作会社では、放課後等デイサービス事業者や保護者・利用者のニーズを十分に把握し、それに応えるWEBサイトを提供する「マーケットイン」「マーケットフィット」のサービスが備わっていないことが少なくありません。

制作会社は、日々様々な業種業態のクライアントの制作に携わるため、放課後等デイサービスに関する知識や経験が不足している可能性があります。そのため、放課後等デイサービス事業者や保護者・利用者のニーズを深く理解した上で、それに応えるWEBサイトを制作することが難しい場合があります。

本来、WEBサイトの立ち上げは、新規利用者獲得を目指したニーズの深堀から始まります。新しいWEBサイトができたとしても、適切な運営をしないと大きく育ちません。

そのため、放課後等デイサービス事業者自身がWEBサイトの運営に積極的に取り組むことが重要です。専任担当者を設置して、できないながらも進むことがオススメです。

まとめ

無料サービスは、その良し悪しをしっかりと理解したうえで、適切に活用することが大切です。

新規利用者獲得をWEBサイトで行いたい場合は、無料ブログでは大きなギャップがあることを本資料でご説明しました。

先生たちは、日々子どもたちや支援に忙しく、新規集客まで手が回らないことも考えられます。

そのため、経営・管理部門が新規集客を担い、自社運営を進めていくことが望ましいのではと考えています。

AND MORE..,

現役放デイ経営者と相談できる
無料カウンセリングへ

こちらからLINE登録 ▶

